

令和 8 年 5 月 27 日

各位

大学院理学府・理学府長 鈴木 博
FR プログラムマネージャー 木村 康之
AS プログラムマネージャー 松森 信明

令和 8 年度 大学院理学府学生に対する
「国内で開催される学会報告等」支援について

令和 8 年度の「国内で開催される学会報告等」の支援についてお知らせします。以下をよく読まれ、希望される学生は別紙の予算計画書に必要事項を記入し、その内容を主指導教員に確認して頂いて下さい。その上で、6月22日(月)までに Cc に主指導教員を加えてメールで、大学院教育プログラム推進室ウォーレン宛に提出下さい(frasprog@sci.kyushu-u.ac.jp)。

6 月中に開催される学会に参加予定の方は、早急に提出下さい。締切日までに予算計画書が提出されない場合、今回の支援は行いませんので注意して下さい。

本年度の募集は年 2 回春と秋に行い、それぞれ選抜を行います。

<提出書類>

以下の書類を提出して下さい。

- ・ 予算計画書（このメールに添付されているもの）
- ・ 2 種類以上の交通費見積書（<支給金額・申請件数について>の（5）参照）
- ・ 学会の開催地等詳細がわかるもの（ホームページのコピー等）

<支援対象・内容>

- (1) 支援対象となる学会は、国内で開催される学会等とします（国内で開催される国際学会等も支援対象となります）。ただし、科研費等のプロジェクト経費により開催されるシンポジウム等は、支援の対象ではありません。
- (2) 支援対象者は、以下に該当する方となります。
 - ① 大学院理学府修士課程 2 年次の FR 配属学生
 - ② 大学院理学府修士課程に在籍する国際コース生
 - ③ 大学院理学府博士後期課程に在籍する全学生

ただし、以下に該当する人はこの募集に申請することはできません。

- ① 日本学術振興会特別研究員
 - ② 休学中の者、留年者
 - ③ 次世代研究者挑戦的研究プログラム(K-SPRING,K2-SPRING)の採択者
 - ④ 次世代 AI 人材育成プログラム(K-BOOST)の採択者
 - ⑧ その他上記以外の併給不可能な奨学金や助成金等の受給者
- (3) 支援対象は学会発表（口頭・ポスター）のみとします。したがって単なる学会参加は支援対象にはなりません。また、共同研究、フィールド調査、巡検のための旅費、消耗品等の購入なども支援対象にはなりません。
- (4) 福岡市内開催の学会は支援の対象となりません。
- (5) 学会支援を希望する学生に対しては、選抜制（詳細は後述）を導入します。したがって、希望者全員を支援できない可能性があります。

<支給金額・申請件数について>

- (1) 令和 8 年度内に国内で開催される学会等における研究発表のために支給します。
- (2) この募集についての申請件数は、年度あたり **1人につき1件**とします。
- (3) 国外で開催される学会にて発表予定の場合、別途募集している国外で開催される学会に対する支援に応募できます（この募集および国外で開催される学会の合計2件）。国外および国内学会支援の両方が採用された場合は、どちらの支援も受けることができます。ただし、予算の都合上、両方の支援ができない可能性があるため、どちらの支援を優先するか予算計画書に記入してください。
- (4) 支給額には、旅費(交通費、宿泊費)、学会参加費が含まれます。
ただし**年会費は支援対象外**とします。
- (5) 交通費は、安価な費用で算出するため複数（2つ以上）の運賃見積もりを作成し、その中でより安価かつ効率的な経路を選択し利用して下さい
- (6) 令和 8 年度より旅費規程が改正されました。宿泊費は、1泊素泊まり料金 11,000円（定額）に加え、宿泊手当（国内 2400 円）と移動雑費（国内 2000 円）が支給されます。
- (7) やむを得ず食事付きプランを利用した場合や参加費に朝食、夕食代相当が含まれ、参加費と食事代相当額を一体として支払う必要があるもの（食事代相当額を除いて支払うことができないもの）については、二重支給防止のため、調整額に基づき食事代を減額して支給します。
- (8) 本学の旅費規程上認められていない手数料は支給しません。

(9) 支援を希望する学会がオンラインで開催される場合は、学会参加費を支援します。

<選抜制について>

希望者が多い場合は、以下の基準に基づき選抜を行います。

<選抜基準について>

申請件数が、予算額を超えた場合、その学生の中から以下の基準で選抜する。なお、以下の基準は①から優先して適用される。

- ① 招待講演等を優先する。
- ② 口頭発表を優先する。
- ③ 発表回数が少ない学生を優先する。
- ④ 学年が下の学生を優先する。
- ⑤ 専攻のバランスや学会の内容などを考慮の対象とすることがある。

選抜結果については、決定次第、各自に通知します。